

ならはみらい

「ならは百年祭」—自分たちの町は自分たちで豊かにする。—

ならはみらいは設立から10年間のさまざまな事業を通じ、町民、地域組織、企業、サークル、町外から応援してくださる方々等さまざまな繋がりができました。それらの触媒的な役割を担う私たちが、それぞれをつなぎ、その力を活かす場面を作る事業として始めたこの企画は、ならは百年祭と命名され、町民有志の会「ならは百年祭をつくる会」が企画運営を行います。



“ならはみらい”的最新情報を定期的にお届けします！

- P2 代表理事ご挨拶
移住相談窓口移転
- P3 地域×企業 会員活動報告
- P4 ならは応援団活動報告
最新情報をPick up!
- P5 ディープなひと。
ならはみらいこんなことにチャレンジしてます！
- P6 Hot/News

一般社団法人ならはみらい

2014年6月末にまちづくり会社として設立。「きずな・安心・活力」この3つの基本理念のもと、町内外から応援をいただきながら町民自身が主体的に関わりを持ち、住みよい暮らしどとなるよう様々な事業に取り組んでいます。

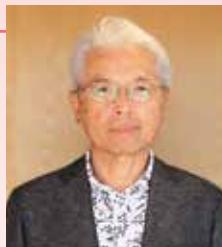
代表理事就任のごあいさつ

6月に開催された理事会で代表理事を拝命した大和田賢司です。まずは、設立当初から陣頭指揮を執っていただいた渡邊前代表理事のご功績と長年のご苦労に対し深く感謝申し上げます。

「きずな・安心・活力」を基本理念に掲げ、様々な事業を展開してきた当法人も今年で設立10年を迎えます。私自身、この節目に就任した責任の重さに身の引き締まる思いです。

さて、現在の檜葉町で求められることは、ハード面の整備からソフト面の施策へと転換しています。当法人の役割もこれまで以上に複雑・多様化し、次の10年・20年を見据えたまちづくりが必要です。

私は、これまで檜葉町副町長として震災からの復興に向けて取り組んでまいりました。今後も、このまちに住む、このまちで働く、このまちに関わるすべての方々の幸福度向上のため尽力いたしますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



代表理事
大和田 賢司

2024年5月 檜葉町移住相談窓口が移転いたしました

檜葉町の移住相談窓口が檜葉町地域活動拠点施設「まざらっせ」に移転となりました。

移住相談窓口は2022年6月より「ならばスタートアップ・プレイスCODOU/コドウ」に開設。今年5月から「まざらっせ」に移住相談窓口を移転することで地域と移住者のつながりをさらに生み出すとともに、移住・定住に向けたサポート体制をより充実させてまいります。

檜葉町移住相談窓口

- ▶住所／檜葉町大字下小塙字久保田63-3
- ▶TEL／0240-23-6721（移住相談窓口専用）
- ▶E-mail／info-codou@narahamirai.com
- ▶移住相談対応日／月～土曜日（9:00～17:00）
※日・祝日、年末年始を除く
※研修等で臨時閉室の場合有り



移住相談窓口が開設されたまざらっせ

Q. 移住相談ってどんな相談ができるの？

- A.** 住まいやお仕事に関する相談が多いです。町内のしかるべき事業所や担当部署と連携し、サポートをさせていただきます。

また、檜葉町には町民であれば申し込みや参加が可能なイベントなどもありますので、お一人お一人にあった支援を提案しています



Q. 移住してきた方とお話ししたいな。。。

- A.** 移住相談窓口では、地域の皆様と移住（希望）者をつなぐイベントを開催しています。SNSやポスターでご案内しますので、ぜひご参加ください！



Q. ならばスタートアップ・プレイスCODOU/コドウはどうなるの？

- A.** 町内に新しく起業した事業所さんの活動拠点となります。また、1階のフリースペースはコワーキングスペースとしてご利用いただくことが可能です。

●1階フリースペース開館日：月～金（9:30～12:00、13:00～17:00）※祝日・年末年始除く
お問い合わせ先：info@ankh.co.jp

地域×企業

* 地域活動で繋がる

檜葉町立地企業親和会からご紹介

宏昇製作所 HIROSHO SEISAKUSHO

楳葉南工業団地に工場を構え、高品質な木製家具の企画、生産、販売を行っています。

宏昇製作所は2011年の東日本大震災では工場ごと避難を余儀なくされましたが、もう一度福島に戻りたいという想いから工場の再建をおこないました。現在は、福島の風景や伝統を、家具を通して感じていただきたいという想いで、この地にちなんだ家具製作もおこなっています。



柚子をモチーフにしたキャリースツール

「かつての楳葉町と、いまの楳葉町。両方を知っている私たちだからこそ、変わらぬこの土地の魅力を伝えられる」と話す宏昇製作所さんは、福島県産の木材での家具の開発を進めています。7月には振興公社さんの協力を得て製作家具の展示会を道の駅ならはで開催しました。宏昇製作所さんの商品は楳葉町ふるさと納税でもお選びいただけます。



道の駅ならはでの展示設営の様子

これが イマドキ!

“ならば事情”

• ならばみらいスタッフが紹介!

星空の下でお酒をお楽しみください！

ならばみらいが事務局を務めるテナント会が実施する「星空酒場」との連携企画として、「星空酒場で乾杯with壱岐焼酎」が開催されました。楳葉町の友好都市である壱岐市の焼酎をライトアップされた屋外で楽しみ、さらにキャンペーンとして各飲食店で壱岐焼酎の無料振舞いを行い、ここなら笑店街のイベントを一層盛り上げました。



星空酒場は8月31日まで開催中です。
皆様是非お越しください。

移住者交流会を開催しています！

5月11日（土）第1回移住者交流会が「まざらっせ」で開催されました。このイベントは楳葉町に移住した皆さんのが交流しながら、移住後のお困り事を共有し解消してもらおうと企画したものです。今年度は奇数月に開催予定です。移住相談窓口を利用ていなくても参加OK!町外から移住された皆様、ぜひご参加ください。お待ちしております！



移住後のサポートも行っております！



町外からのチカラで町を元気に!! ならば応援団 活動報告♪

ならば応援団の皆さんによる、今年度の活動を
Pickupしてご紹介します♪

東日本大震災以降、福島県に何度も足を運び音楽を届けてくださった「ET-KING」の皆さん。2016年には檜葉町サマーフェスティバルに出演いただいたご縁があります。今回、ならば応援団にご登録いただき、

全国ツアーの道中、みんなの交流館ならばCANvasにお立ち寄りいただき、アコースティックライブを開催。150名以上のファンの方々が集いました。



応援団員数
(令和6年8月1日時点)

団体登録 21 団体 個人登録 306 名

檜葉町に想いを持って下さる
“ひと”のつながりを大切に。



Pick up

檜葉町ふるさと納税 逸品紹介!



こちらの返礼品は色・デザインにこだわった手作りの布ぞうりです。つくっているのは檜葉わらじ組さん。震災後、仮設住宅で活動を始め、檜葉町に戻った現在も「たくさんの人々に布ぞうりを履いてほしい」という想いで布ぞうり作りに励んでいます。同じデザインのものは一つもなく、まさに「一点モノ」です。履けば履くほど足になじみ、独特の風合いによって、世界でたったひとつの布ぞうりへと生まれ変わります。

「かわいい布ぞうりが檜葉にあるんだよ!」とみなさんのお知り合いの方にも是非ご紹介いただける嬉しさです。

欲しい!

自然が舞台 アドベンチャーレース開催!



昨年度から檜葉町をフィールドに開催しているアドベンチャーレースが6月29日、30日の2日間、天神岬スポーツ公園を発着点とする特設コースで開かれました。実施したのは2大会で、全国の28チームが出場したエクストリームシリーズ2024福島ならば大会には、日の丸を背負って世界で戦うトップレーサーも参戦。エクストリームチャレンジin福島ならばは幅広い世代が楽しめるゲーム感覚のレースで、家族や友人知人で結成した18チームが出場しました。スタート直前に渡されたマップを手に、参加チームは町内各所に隠されたチェックポイントを探し歩くとともに、海山川に抱かれた豊かな檜葉の自然を満喫していました。

開催!

つながりの深い“ひと”をご紹介！ディープなひと。

3月に、ここなら笑店街にOPENした和定食屋『美楽家』。今回は美楽家の店長である岩並さんにお話を伺いました。



いわなみ いちろう
岩並 一郎さん

美楽家店長 いわき市出身



是非来てください。

❶ 働き始めたきっかけは？

元々、隣店舗である「麺joyなごみ家」で社員として働いていました。その後、新たに美楽家をオープンすることになり、経験もあったことから美楽家店長として働くことになりました。現在もまだ勉強中の身です。



❷ 人気メニューは強みは？

他店にない焼き魚を扱っていて、気仙沼産のマグロを使用したマグロハラス定食（税込1,400円）がボリュームと見た目のインパクトがあり人気メニューです。また、常磐物のヒラメは、漬け丼・天・ぶら定食、一部のランチ限定メニューにも付き、人気メニューとなっています。

❸ 今後の目標は？

美楽家では、日替わりランチをやっています。コンスタントに内容を変えたり、幅を広げたり等お客様に飽きが来ないようなメニュー作りを目指していくつ、またテイクアウト等お客様に喜んでいただけるよう取り組んでいます。

食べていただいたお客様から「美味しかったよ」「また来るね」と言っていただけるようなお店にしていきたいと考えています。



ならば地域活動相談窓口始動！ みんなの“地域活動”を 「つながり」「備品」「活動費」でサポート！

ならばみらいでは、「自分の暮らす“まち”をもっと素敵に！」と想いを持って活動している方、これから何かを始めようとしている方を対象に随時相談を受け付けています。

相談内容に応じて、より地域主体の持続可能な活動になるようお手伝いさせていただきます。

●サポート内容（現在準備中の内容も含みます）

※写真はイメージです

❶ 備品レンタル

テントや発電機、簡易ステージ等備品として準備するのが難しい品物やラミネーターなどちょっと使いたい事務用品をレンタルいたします。

※貸出内容・申請方法はお問い合わせください。



❷ まちづくりピチ補助金

継続性のある地域活動や、公共の利益を目的として自ら企画立案するアイデアや挑戦を支援します。令和6年10月から運用を開始予定です。今後の詳細については、ならばみらいHP上で更新していきます。



❸ 町民提案型まちづくり

地域の皆さんの視点ならではの「檜葉の良さ」や「檜葉の課題」に関する取り組みに活動費補助をいたします。（上限100万円を想定）新規事業はもちろん、既存の活動を発展させたい方もOK。是非ご相談ください。





地域主体の取り組みのご紹介「おいで！駅前朝市」で竜田駅西側を盛り上げよう！

竜田駅西側では、地域住民の方々が中心となり定期的に朝市を開催しています。今回は、第3回開催(7月28日)に向けておこなわれた会議にお邪魔しました。出店は、家庭菜園で採れた野菜や紙芝居、各種ドリンクの他ふたば未来学園高校生による企画など盛りだくさんです！



7/12(金)@喫茶ヤドリギ
小野さん、佐藤さん、森さん、坂本さん、宇佐見さん

大切にしていること



「手づくり」にこだわっているよね。今までイベントをやったことが無いような地区の人たちが知恵を出してやってみる。そうすることで自分達らしいものになるかな。おばあちゃん達のお茶飲み話から始まった朝市だから、そこに集まる皆が気持ちも格好も普段着で来れる場所になれたら良いよね。

今回は、ふたば未来学園の高校生や、檜葉町の地域おこし協力隊の方による出店もあります。長く続けるには、元々の住民ではない方も受け入れる必要もあるかな。ただし、私たちが大切にしたいことは地域住民同士のコミュニケーションを通して共感・理解してもらえるよう歩み寄りが大切だと思うな。



小野さん

News

大鍋で振る舞う「お母さんの味」

檜葉町総合グラウンド多目的運動場のこけら落としイベントが6月2日に開かれ、すいとん研究会の皆さんのが250食分の「マミーすいとん」を大鍋で調理し、来場者に振る舞いました。今年4月から福島県に戻ったJFAアカデミー福島女子のメンバーも配布に協力。ならば伝統の「マミー＝お母さん」の味をPRしました。



定時社員総会及び第1回理事会の開催

6月に社員総会および理事会を開催し、本年度の事業計画や収支予算が承認されました。

また、新たな代表理事、監事、社員の選出も行われました。



Newface

新たな仲間をご紹介！



猪狩 充弘 (いがり みちひろ)

#檜葉町出身

#趣味はバイク・山の手入れ

このまちに暮らす「喜び」を感じることのできる「場」の創出に向け、私自身、汗をかいていく所存です。よろしくお願いします。



齋藤 誠 (さいとう まこと)

#埼玉県さいたま市出身

#趣味はラグビー・カラオケ

7月から檜葉町でお世話になっております。コミュニケーションを大切にし笑顔を絶やさず頑張ってまいります。気軽に声を掛けて頂けるとありがとうございます。どうぞよろしくお願いします。

MIRAI Now

ならはみらいの動き

8月 17日 • 第3回ならは百年祭

9月 7日 • 移住者交流会

15日 • ならはの暮らしとクラフトマルシェ

21日 • DDTプロレスリング 路上プロレス

11月 9日 • 移住者交流会

16日 • ならSUNフェス

12月 • イルミネーション点灯式

毎月実施 檜葉町活性化協議会会議(第1水曜日)
ここなら笑店街テナント会(第1木曜日)

発行者・問い合わせ先

一般社団法人ならはみらい

住所:〒979-0604 福島県双葉郡檜葉町大字北田字中満260番地 みんなの交流館ならはCANvas内
電話:0240-23-6771 FAX:0240-23-6772

Mail:info@narahamirai.com Web:<https://narahamirai.com>

